

前回の振り返りとして・・・(補足)

◆平成30年度にはまちづくり委員会制度の運用開始から15年が経過しました。社会情勢や生活環境の変化、提案数や委員応募者の減少などの課題が顕在化してきた一方、市長への手紙、パブリックコメント、各種審議会・委員会などへの市民の参加と、市民参加の拡充に結び付けられたことを鑑み、まちづくり委員会を一度見直す時期ではないかと令和元年度よりまちづくり委員経験者による今後の在り方検討会を実施しました。

➤ 見直しにおけるまちづくり委員会再開について※

「市民のだれもが提案でき、その提案をどういう形で実施していくことが望ましいか、実現の手段を検討し、提言に結び付け、提言に基づいた実現に向けて実施する。」という概念は検討会を通じた中で揺るがない部分でした。

委員会の再開実行に向けてのキーワード

- 1 実行力・実効性のある提言をするには
- 2 提案数が増えるようにするには
- 3 委員の成り手が増えるようにするためには
- 4 議論を活性化させるためには

※市のホームページに検討会結果報告を掲載しています。

➤ なぜ大学生を交えたワークショップなのか

市内には、日本社会事業大学、明治薬科大学、国立看護大学校の3校があることから、学生目線によるまちづくりに関する意見の取り込みや、学生が市政に関心を持ってもらうこと、まちづくり委員会に興味を持ってもらうことが考えられ、その手法としてワークショップの開催が考えられる。との検討会意見があることから学生を交えたワークショップを開催しようとするものです。

会議の日程について

すでに会議日程の予定を入れていただいている中誠に申し訳ございません。基本の開催日程は第3週木曜日となったところではありますが、会議室の使用状況やオンライン参加に伴う備品の使用状況により次回、再度日程の調整をさせていただきたいと考えています。3月は予定どおり第3週木曜日の17日となります。